

名 称	令和元年度第3回 鹿沼市総合計画審議会議事録
日 時	令和元年12月11日(水) 15:30~17:00
場 所	鹿沼市民文化センター 1階中会議室
出席者	別紙のとおり
内容及び結果等	<p>(進行：矢口課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会長あいさつ(鈴木節也委員) ○ 部長あいさつ(糸井総務部長) ○ 議 事 <p>(1)人口ビジョンについて ⇒意見なし。</p> <p>(2)掲載事業について</p> <p>上澤委員：①自治会加入率が下がっている。社協など様々な方面に影響がある重要な問題であり、KPIの上方修正が必要では？</p> <p>②高齢者の生活の足に関して、リーバスやコミュニティバスが記載されているが、自治会の移送サービスも含めて考えたほうが良いのではないかと？</p> <p>事 務 局：①過去の実績からすると2年間の改訂期間では大きな上昇が見込めないため、本改訂案で進めたい。なお、次期総合計画で検討していきたい。</p> <p>②公共交通の切り口から本事業を組み立てられているが、今後は公共交通を補完するものとして考えていきたい。</p> <p>吉田委員：①本戦略の本旨は、少子高齢化とそれに伴う人口減少対策のための計画。</p> <p>②外国人関係では、幼稚園にも外国人が来る。市民として生活できるようフォローすることが大切と考えるが、このKPIでは低すぎないか？</p> <p>③子どもの遊び場に関して、鹿沼は雨天時に子どもを遊ばせる場所がないと感じる。PRにもなると思うので整備してはどうか？</p> <p>④幼保待機児童について、0~3歳児0人とのことだが、6歳児までの待機児童がいるので、そちらも0人となるよう取り組んでほしい。</p> <p>⑤災害対応についても、台風19号被害等を鑑み重要と考える。</p> <p>事 務 局：①戦略の本旨はその通り。自然動態は減少傾向だが、社会動態は外国人が多く転入してきており直近では±0となっている。</p> <p>②外国人施策については考え始めたばかりで、実績ベースでKPIを設定している。今後、研究を進め事業展開を考えていく。</p> <p>③子どもの遊び場については4月オープン予定。お年寄りが子供を連れてくるなど花木センターとの相互利用も期待しつつ、「木のまちかぬま」らしい内容で整備しているところである。</p> <p>④3~6歳の待機児童についても実態把握のうえ、対策を検討したい。</p> <p>⑤災害対策の一環で、自主防災会設立支援や防災士免許取得支援を実施。引続き自助・共助の力を高める支援と並行し、インフラ関係も引き続き整えていきたい。</p> <p>小林委員：市民協働のまちづくりについて、その地域の特色をよく知っている地域自体が主体となってまちづくりを行っていくことが大切だと思う。</p>

次ページに続く

- 木村委員：①鹿沼営業戦略について、環境を前面に出すことでPR効果が高まり、いいまち（代理）だから住んでみたいというイメージを持ってもらえるのではないかと？
- ②花木センターの直売所について、農家等との契約を円滑にすることで、特色ある品そろえにしていくことが必要と考える。
- ③かぬまブランドについて、鹿沼土をブランド認定できないか？
- 事務局：①環境は世界の関心事で、SDGsでも持続可能性の観点から重要であると位置付けている。市として当然取り組む必要があるが、いわゆる「ウリ」にする視点も今後取り入れていきたい。
- ②事業の進め方に対する意見として承り、所管課に伝える。
- ③鹿沼土は鹿沼市の特産品では一番の認知度。所管課に伝え検討していきたい。
- 設楽委員：①外国人への挨拶という施策は、施策として不十分ではないか？
- ②学童保育について、学童保育でのトラブルが学校生活に影響を与えることがある。逆もまた然り。情報交換などの連携の在り方を検討してほしい。
- 事務局：①外国人への挨拶事業は、挨拶をきっかけにコミュニケーションを展開し、市の魅力を伝える展開を想定。この事業を意義あるものとするため市民にどう働きかけていくか検討する必要があると考える。
- ②課題として所管課に伝え、対応を検討していく。
- 早山委員：①制度融資に関して、事業内容とKPIが不一致であると感じる。
- ②中小企業の成長支援について、側面支援については、オープンイノベーションや開放特許の活用などが必要ではないか？事業継承については、市内に2600ある企業へのサポートを通じ、市内経済の持続可能性を高める必要がある。
- ③6つの視点にあるSDGsについて、11月21日の閣議決定でSDGs金融の仕組みが示された。自治体の認証に基づき金融機関が金融支援を行う官民連携が求められている。
- 事務局：①制度融資についてはご指摘のとおりであり、再検討する。
- ②中小企業の成長支援のうち、側面支援については共創の観点から企業同士、企業と学術機関等の結び付けが重要と考える。事業継承については金融機関や支援機関と連携し進めていきたい。
- ③SDGsについては勉強し始めたばかり。将来的な発展の機会ととらえ、様々な立場の皆様とともに進めていきたい。
- 戸塚委員：①SDGs金融について、これまでの環境などの取り組みと違い、公的機関でなく企業が主体となる。すべての産業とかかわりのある金融機関として、同じくすべての産業と関わっている市と協力してSDGsを進めたい。
- ②外国人について、本件では実習生が多く、来日して口座作成後、実習期間（3年程度）終了時に違法行為である口座の売却により犯罪に利用されるケースが増えている。このような問題にも様々な機関が連携し対処していかなくてはならない。

次ページに続く

<p>事務局：①どの業界もフラットな立場で協力しながら進めたい。</p> <p>②今後外国人の受入れが進めば、さらに生活に直結するような問題が増えることが予想される。行政として対応できることはやっていくつもりだ。特定の機関だけで解決可能な問題ばかりではないと思うので、様々な機関の連携を強めてトライ＆エラーも含め対応していきたい。</p> <p>吉田委員：郷土愛の教育について、転出防止などの思いがあるのではないか。転出の一番の原因は高校卒業後の進学で地元を離れてしまうことではないかと感じている。その対策のためにも、大学や専門学校などの誘致は必要であると思う。</p> <p>○ その他</p> <p>葉山委員：イノシシなどの野生鳥獣問題が深刻化している。安心安全なまちづくりの観点から野生鳥獣対策は重要な問題である。</p> <p>上澤委員：野生鳥獣被害は非常に深刻。地域住民の生活環境が侵食され、人が住める状況ではなくなってきている。このままでは中山間地は誰も住まなくなってしまうだろう。</p> <p>○ 閉 会</p>	
配布資料	会議資料一式
次回予定	令和2年1月17日
記録者	企画課 山口
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開 (公開の場合) 傍聴人数
	0人